



磯田 義弘 議員

二級河川 稗田川改修事業について

- 問** 稗田川の整備内容について。
- 答** 時間対応雨量80ミリを目標とし、現在は52ミリ対応の工事を行っています。今後の整備内容は、小橋から新高取橋上流までの改修と上田橋、中根橋の改築と県から聞いております。
- 問** 稗田川、治水計画（遊水池）の約5haの遊水池の計画は。
- 答** 遊水池は、小橋付近に必要になると聞いており、県の計画には残っております。
- 問** 時間対応雨量52ミリとは、何時間降っても大丈夫か。
- 答** 大丈夫ではありません。現在の工事では、一日の最大降雨量は164ミリ対応です。
- 問** 五反田グランド南のパイプライン事業で、耕作者の理解でできた水田の雨水滞留効果は。
- 答** 排水路の暗渠化と排水抑制柵で、新たに調整池を建設する以上の効果となりました。
- 問** 高浜川水門の排水ポンプ設

- 置計画は。**
- 答** 高潮時、海水の逆流を防ぐため水門を閉鎖します。その時上流からの水を海に強制的に毎秒15トン放ち、水門上流域の洪水を防止する計画です。
- 問** 本市の過去最大雨量は。
- 答** 平成12年9月の東海豪雨時の時間雨量102・5ミリ、最大合計雨量は、二日間で459ミリでした。
- 問** 今回内閣府発表のTP3・1mの津波に、高浜川水門は対応できるか。過去の最高潮位は。
- 答** 昭和34年の伊勢湾台風でTP3・09mでした。水門の閉鎖時の高さは、TP3・65mとなっております。
- 問** 地震、津波に対して稗田川の堤防は大丈夫か。
- 答** 高取幼稚園南から小橋までの間で、液状化の可能性が高い地域があります。
- 問** 稗田川、小橋より上流の改修計画について県の考えは。
- 答** 現段階では予算化がされていないが、継続し順次改修すると県から聞いております。
- 問** 県に今後も整備を働きかけてもらいたい。
- 答** 議員の言われるとおり更なる改修促進や高浜川水門の排水ポンプ新設をお願いしてまいります。



黒川 美克 議員

防災対応と都市基盤整備について

- 問** 本市の社会資本整備総合交付金事業の状況と取り組みについて。
- 答** 本市の状況と取り組みについては、二つ目の分野「活力創出基盤整備」では、愛知県と県内の市町村全体計画で安全で快適な生活道路の整備計画を立て、市道港線の整備、市内幹線道路の橋りょう点検、吉浜地区の人形小路の整備並びにまちづくり協議会の拠点整備、防犯灯のLED灯への取替事業を進めています。二つ目の分野「水の安全・安心基盤整備」では、公共下水道の整備を進めています。三つ目の分野「市街地整備」では、都市防災総合推進事業として、同報系防災行政無線の整備等を進めています。
- 問** 公共施設のあり方検討と都市計画マスタープランの報告書と巨大地震等の被害想定との整合性について。

- 答** 公共施設のあり方検討と都市計画マスタープランの報告書と巨大地震等の被害想定との整合性については、今後、中央防災会議の被害想定の見直し結果によって判断をしていきます。
- 問** 今後発生が予想される巨大地震に対しての都市基盤等の整備と技術職員の資質向上に役立つ資格取得の支援について。
- 答** 今後発生が予想される巨大地震に対しては、まずは「中央防災会議の被害想定の見直し」「地域防災計画の見直し」「愛知県震災復興都市計画の手引き」これらの結果について、内容を鑑みながら、より効果的、効率的な方策を検討します。また、技術職員の必要性は、十分認識しており、事業を遂行する上で必要な資格取得については、受講等を通じて支援してまいります。

図書館の相互利用について

- 問** 図書館の相互利用について。
- 答** それぞれの市町村が図書館の相互利用の協定を締結していく必要があると考えますので、利用者の要望や広域的な相互利用に伴う課題なども考慮しながら、必要に応じて県内市町村との図書館相互利用を検討します。